

## 令和4年7月度・放射能検査結果について

総合科学新潟研究所が取りまとめている放射性物質に関する情報を社内において共有化し、品目・産地の選定をして、放射能スクリーニング検査を行った結果をご報告致します。

- 今月は、スクリーニング検査を25点（青果物20点、水産物3点、畜産物2点）実施し、全て安全であることを確認しました。

### スクリーニング検査結果

測定 株式会社大庄 総合科学新潟研究所

| 青果物 |    |   | 水産物 |   |   | 畜産物 |   |   | 合 計 |    |   |
|-----|----|---|-----|---|---|-----|---|---|-----|----|---|
| 点数  | 合  | 否 | 点数  | 合 | 否 | 点数  | 合 | 否 | 点数  | 合  | 否 |
| 20  | 20 | 0 | 3   | 3 | 0 | 2   | 2 | 0 | 25  | 25 | 0 |

#### <参考>

- スクリーニング検査結果については、必要により外部検査機関による精密分析を実施し、結果を比較することで検査の妥当性の検証を行っております。
- 今後の対応について
  - 今後とも、新潟研究所が汚染動向を随時把握し、注意が必要な産地・品目を明確にして社内において情報を共有し、食材使用に活かすとともに、必要な検査を実施してまいります。
  - なお、東北の食材については、復興支援のために安全性を確認したものは出来るだけ使用していきたいと考えています。
  - 流通している食品について汚染の可能性は、かなり低くなってきましたが、特定の品目では国内基準を超えるものもあるため、お客様の信頼が得られるまで、調査を継続していきたいと考えています。
- 食材の使用対象（地域・品目）については、自社の総合科学新潟研究所が全国の自治体による放射能検査結果を把握し、出荷制限の追加・解除、50Bq以上検出された地域・品目のデータと地図を物流センターおよび各店舗に提供して食材仕入れの参考にしています。
- 一連の取組みの徹底により、汚染された食材の使用を回避できていると考えております。

この報告書は、大庄総合科学新潟研究所がとりまとめております。